

## 相談支援部会 報告書

会議名	第2回 相談支援部会		
開催日時	令和7年11月18日(火) 10時00分~12時00分		
開催場所	板橋区役所 北館9階 大会議室B		
出席者数	16名(欠席1名)	傍聴者数	3名

## 報告事項(2件)

議題名	基幹相談支援センター事業報告
概要	9月末までの基幹相談支援センターの取組を報告した。
主な意見	<p>・地域生活支援拠点等の取組で安心プランの作成数が少ないことを疑問に感じた。</p> <p>➡</p> <p>各方面より「少ないのではないかと、なんで？」との声はいただいている。現状としては、手続き面での課題がある。まず誰が作成するかといったところで、相談支援専門員に作成を担っていただく形になっているが、相談支援事業所にまずは拠点登録していただかないと作成する相談支援専門員さんまで情報が伝わっていかない。相談支援事業所に協力をいただいくということが1つ課題としてある。また、実際にプランを作成する中で、最後の泊まる場所、短期入所施設で受け入れてくれるのかというところ、短期入所施設としては、まず試し・練習が必要であるが、そこまでたどり着かないというのも課題として挙げられる。このような課題を踏まえ、仕組みに関しては、現在相談事業推進係を中心に検討中である。</p>

議題名	相談支援・障がい児相談支援の充実について
概要	相談支援事業所出張説明会、MAPシステムについての報告をした。
主な意見	<p>実務担当者連絡会の出席率はどれくらいなのか、特定の事業所ばかり参加しているなど。現状、参加しなくても困らないという現状があるのではないかと。困らせるまでいかずとも参加するとプラスになる、何か持ち帰れるなどの会になると参加者が増え区内の支援の厚みが出てくるのではないかと。</p> <p>➡</p> <p>現状、新しくできた事業所は来ていただいている。古くからある事業所はあまり参加がない。参加がない事業所と話した中では、「そこまで時間をかけても持ち帰るものはない。」「横と連携しても・・・」という声がある。また一人事業所で時間が作れない事業所もある。</p> <p>基幹としては連絡会の構成を検討して、様々なものを準備し開催している、勉強会などもぜひ参加していただきたい内容であるが、なかなか参加者が増えていかないのが現状。企画側の課題もある。</p> <p>新しい情報、新しい事業所もセンターに来るため、そのような情報は連絡会に参加いただいている事業所には渡すようなこともしている。</p> <p>毎回参加していて、勉強になる会と感じている。そこが伝わっていないのがもどかしいと感じる。高齢分野のケアマネの勉強会は参加率が高いため、そこの違いもどこ</p>

	<p>にあるかを考えたりもしている。</p> <p>もし相談支援専門員と関わったり、お話しする機会があれば、「連絡会に行ってる？」など連絡会の話題を出して生の声をフィードバックいただけたらと思う。</p> <p>「みつかえる板橋」について、どのように区民の方に広報しているのかチラシはどのような場所においてあるのか。相談支援事業所以外の障がいサービス事業所の登録率や      広がり具合はどのような形なのか。</p> <p>➡</p> <p>周知について、チラシをセンター（地域センター、健康福祉センター等）においている。区HPや広報いたばしでも周知をしている。</p> <p>登録率について、現時点で相談支援事業は平均よりは高めであると感じる。たくさんの事業所があるサービスは低めの登録率、新しくできたサービスなどは比較的高めの登録率である。区内の相談支援事業所の登録率100%を目指していきたい。</p>
--	---

## 協議事項（1件）

議題名	グループワーク：相談支援フローチャート（仮）について
概要	区内で障がいのある方、その支援者等が困った際の相談先がわかるフローチャートを作るため、前回の部会で書き起こした実際の相談内容や取組などの事例をもとにその事例に適した相談先を当てはめ書き起こした。
主な意見	<p><b>【身体・知的系グループ】</b>          成人期になってからの障がいになった方の相談先を考えた。3グループで回すことによって様々な相談先が出てきていて、結果相談先が広がった。なかなか障がい者の福祉のしおりだけでは見つからないような相談の内容が具体的に示されていて、その支援内容や相談先をお互いに意見しあい、共有ができて知ることができとてもよかった。冊子だと公的機関の相談先が主であるが、公的機関以外のインフォーマルな親の会やまちの保健室などの相談先も載せると心強いのではないかと感じた。</p> <p><b>【精神系グループ】</b>          いくつも似たような項目があったため分けて作成した。          自分が知らない相談先がたくさんあり、板橋区内にはかなり多くの相談先があるんだなと思った。しかし、そこが周知されていない、あまり知られてないというのは課題。          どのように周知していければよいのかと感じた。          3グループで回し、様々な場所で相談するが、親の会など敷居の低いところで相談もしていけたらよいと感じた。          障がい者福祉のしおりの最後のページにでも要支援者名簿みたいなものもありますよというような周知のページも一枚あるといいのではないかと意見があった。</p> <p><b>【児童系グループ】</b>          子どもに関する相談先は概ね検討されたものが出てきていた。          相談先がたくさんあり、部署も様々なことをやっている。しかし、一つにまとまらない。ということが課題としてずっとある。その課題を解決するのに先ほどのMAPシステムを活用してはどうだろうかという意見が出た。          どうにかして、当事者・家族の方などがどこか一か所にでもつながれるという形を作ればよい。そのために、いたばしTIMESに記事を載せるなど、まずは様々な周知の</p>

	方法をきちんと整えるのが大切と感じた。
今後の方向性	今回の部会で書き起こした相談先をまとめ、次回の部会以降でフローチャートの作成を進めていく。

会議名	第3回 相談支援部会		
開催日時	令和8年2月20日(金) 10時00分~12時00分		
開催場所	板橋区役所 北館9階 大会議室A		
出席者数	14名(欠席3名)	傍聴者数	1名

### 報告事項(2件)

議題名	基幹相談支援センター事業報告
概要	令和8年1月末までの基幹相談支援センターの取組を報告した。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内福祉園はどこも定員が満員だと思っていたが、グループ内での意見交換の中で利用者が減っている状況があるということを初めて知った。民間企業の雇用もどんどん増えていっているという現状も知れた。</li> <li>・ヘルパーの事業所が減っている、障がいのある方を受け入れてもらえなくなったという声が多くなっている。高齢の方を受け入れた方が加算がつくこともあって事業者は経営面的にも高齢者を受け入れやすい。また、高齢の方の家事援助を減らすという国の方針に伴って障がいの方も家事援助が減らされてしまっているのではないかと。支援が必要な人が受けられない現状がある。</li> <li>・相談支援事業所に対する事業所訪問、アウトリーチに関して、それを拒否するなど受けないというのはあってはならないことなのではないか。そのような事業所を最後まで追うのかという部分も気になった。 ↓ 今年度区と共に東京都の基幹アドバイザー事業に参加しており、その中でそのような相談支援事業所の質に関する話は出ている。そのような事業所を全て拾えるのか、どのようにすれば連絡会等に出でこさせられる、指導していくかという部分が大きな課題となっている。この後の協議事項で詳しく話したい。</li> </ul>

議題名	令和7年度第1回相談支援事業所出張説明会について
概要	昨年12月に開催した相談支援事業所出張説明会の実施後報告をした。

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの回答にもあるが、民間の福祉園、作業所向けにも説明会を行う検討をしてもよいのではないかと感じた。</li> <li>・事前に説明会参加者の相談支援の状況を聞いていたため、それに合わせた説明をできたかなと感じている。今後も協力していければと思っている。</li> <li>・2年前の出張説明会で出会った、相談支援専門員を利用していない方が、今は相談支援専門員がついているという話を聞き、時間はかかるかもしれないが、説明会は大切だと改めて感じた。</li> </ul>
------	---

## 協議事項(2件)

議題名	主任相談支援専門員会議より提言
概要	区内主任相談支援専門員で構成される、主任相談支援専門員会議より現状の区内の相談支援事業所の質の低さや相談支援のあり方について提言があった。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の底上げをしていくには、相談支援事業所への働きかけや支援の基準を明確にすることが必要ではないかと感じる。記載が不足している報告書が受理されている現状が「これでいい」と事業所に誤解させてしまっているのではないかと感じる。適切な支援の基準・共有できるガイドラインなどがあるとよい。</li> <li>・必ず提出する書類等が作成できていない相談支援事業所が見受けられ驚いた。必ず提出が必要な書類などは区が周知するなどお力をいただければどうか。</li> <li>・モニタリング検証をすることによって自分の支援の仕方に新たな気づきがあった。他の方も自分の支援の仕方が当たり前と思っている場合が多いと考えられるため、このように自分の支援を見直す機会があるとよいと感じた。</li> </ul>
今後の方向性	今回の部会であった提言(相談支援事業所に対しての集団指導や監査等について)を3月の自立支援協議会本会で報告する。

議題名	グループワーク：相談支援フローチャート(仮)について
概要	区内で障がいのある方、その支援者等が困った際の相談先がわかるフローチャートを作るため、前回の部会で書き起こした実際の相談内容や取組などの事例を実際のフローチャートで使えるよう、わかりやすい表現に変換しまとめた。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・似たような相談内容、文言が違うが実はつながっているものが多くみられ、項目として一緒にできるものも多くあった。これを対象者がどのように見るか、相談の入口というところでどのような表現がよいか今後大切になってくるのではないかと感じる。</li> <li>・このように模造紙で整理してみると板橋に足りないところがおおよそ整理できた気がする。それらを来年度どのような形で反映させていくか、自立支援協議会で協議したりキャッチボールのような体制を取れたら今後に活きると思う。</li> <li>・大項目とサブタイトルのニュアンスを同じにすることや中項目の記載方法を統一した方が見やすいのではないかと感じる。</li> </ul>

今後の 方向性	今回の部会でまとめた、大見出し、中見出しをもとに次回の部会でフローチャートの たたき台完成を目指す。
------------	---